

第 11 次厚木市総合計画策定に係る意見交換会について

意見交換会の名称	第 11 次厚木市総合計画策定に係る意見交換会	
開催日時	令和7年5月 30 日(金) 午後7時から8時 10 分まで	
開催場所	厚木市役所本庁舎4階 大会議室	
参加者数	20 人	
担当課	企画政策課	
結果公開日	令和7年6月6日(金)	
会議の経過	1 開会 2 挨拶 3 案件 第 11 次厚木市総合計画の概要について 4 質疑応答(意見交換) 5 閉会	
	質問・意見の概要	市の考え方
1	現在、令和3年度から令和 14 年度までの 12 年間を計画期間とする第 10 次総合計画が進行中だが、それを本年度で終了し、令和8年度から新たに第 11 次総合計画に移行するという認識でよいか。	御認識のとおりです。
2	市内の公園の利用状況について、稼働率等の定量的データによる把握はしているのか。市内には多くの公園があるが、中にはあまり利用されていない公園もあるように見受けられる。	公園の利用状況については、稼働率等の定量データによる把握はしておりません。御意見のとおり、利用が進まない公園もあると思われますが、市民の憩いの場として、一定数設置する必要があるものと考えます。
3	スポーツ・文化芸術・歴史の聖地づくりという話があったが、厚木は芸能人やミュージシャンを輩出していることから、アイドルやミュージシャンの聖地として多くの人に訪れてもらえるまちを目指すのはどうか。	文化芸術の聖地づくりについては、取組の一環として「あつぎストリートフェス」というイベントを毎月第3土曜日に中町花の公園にて開催し、若手ミュージシャンの方々に出演していただいております。ま

	駅周辺の公園等で若手ミュージシャンが日常的に野外ライブ等を行っている環境をつくることで、持続的ににぎわいが生まれるまちになればよいと思う。	た、若者アーティストの育成と音楽文化の普及向上のため、「あつぎミュージックフェスティバル」というイベントを毎年開催しております。こうした取組を通して、地元からミュージシャンの方を輩出できればと考えております。
4	厚木は外国人の方が多いので、本厚木駅周辺をヨーロッパ地域、アメリカ地域等にエリア分けして、厚木に行けば世界の文化やグルメが楽しめるようなまちにすると、多くの人に訪れてもらえるのではないかな。	本厚木駅周辺のまちづくりについては、第11次総合計画の重点プロジェクトにおいて中心市街地の整備を位置付けておりますので、魅力的なまちづくりを進めていきたいと考えております。
5	依知北地区は圏央厚木インターチェンジが開設されてから物流拠点として整備が進んでいるが、物流施設は住民が利用できるわけではなく、あまり恩恵がない。インターチェンジ付近に道の駅を設置し、住民が買い物などで利用できるようにすれば、生活利便性が向上するのではないかな。	地域における商業施設等の不足については課題として承知しており、生活利便施設の誘致に向けて取り組んでいるところですが、地価の上昇により誘致が進まない状況もございます。引き続き、地域の生活利便性向上のための施策を実施していきたいと考えております。
6	高齢化や商業施設の不足による、いわゆる買物難民が増えていると感じる。そうした中、厚木市は移動販売に力を入れていくと聞いたが、具体的に、いつ、どのように進めていくのか。	移動販売について、現時点でお示しできる内容は把握しておりません。
7	厚木市でライドシェアを導入する考えはあるか。	ライドシェアについて、現時点でお示しできる内容は把握しておりません。
8	市内バス路線のうち、長距離路線の便数が維持されるように取り組んでほしい。便数の維持のためには沿線住民の減少を抑える必要があるので、居住誘導のための施策も検討してほしい。	利用者の少ないバス路線は維持が難しくなるので、市としても公共交通機関の利用促進に向けた取組を行うほか、バス待ち環境向上のための取組等も行っています。本市において路線バスは重要な交通手段であるため、バス路線の維持のためにしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

9	高齢者の方も外出しやすくなるように、コミュニティ交通の施策を推進してほしい。	コミュニティ交通については、現在、鳶尾地区及びまつかげ台・みはる野地区の2地区で運行中であり、さらに現在、宮の里地区及び上依知地域において検討が進められています。公共交通であるバス路線の維持とあわせて、公共交通から先の移動手段の確保という面で、引き続き取り組んでいきたいと考えております。
10	企業誘致に力を入れていると思うが、進出する企業も機械化、デジタル化により少ない人員で操業しており、地元の雇用の創出につながっていない。多くの雇用が生まれるような企業を選別してほしい。	現在、森の里東地区及び酒井地区において基盤整備が完了し、企業が進出しておりますが、雇用が期待できる製造業であっても、オートメーション化により雇用の創出につながらないという状況がございます。市としても、効果的な誘致策を検討いたします。
11	自治会への支援を充実するとともに、自治会の必要性について市からも広く発信してほしい。	自治会に対しては、支援だけでなく、市から御依頼している業務が多かった点を見直し、自治会本来の業務ができるように負担軽減に努めていきます。
12	配布資料「03_長期ビジョン素案」の「4策定の背景」について、各項目冒頭の2行程度で現状認識と課題について簡潔にまとめられているが、P5の「(9)産業」については記載の方向性がほかの項目と異なる。あえてこの項目だけ書き方を変えた意図は。	特段、ほかの項目と意図的に変えたわけではありません。素案の段階ですので、御指摘も踏まえて、全体と整合するように記載方法を検討いたします。
13	昨年度市民ワークショップを実施して、出された意見を踏まえたとのことだが、具体的に今回の素案にどのように反映されているのか。	ワークショップで皆様から頂いた御意見を基に、目指す将来のまちの姿である将来都市像を今回発案しています。より具体的な御意見につきましては、事業を位置付けるアクションプランの検討の中で参考とさせていただきます。
14	厚木市は子育てに力を入れすぎて、高齢者への支援が手薄になるのではと心配する声も聞く。今後、高齢者施策についてどのように考えているのか。	高齢者の方への施策について、現行の第10次総合計画では福祉という広義の枠組みの中に位置付けていたものを見直し、第11次では、「福祉・健康・コミュニティ」の政策において、「高齢者福祉」という独立した施策として位置付けています。こ

		れにより、高齢者福祉についてより明確にする方向で整理しております。
15	ほぼ利用されていない公園が見受けられる。利用率が低い公園は廃止し、防災備蓄倉庫等を設置するなど、有効活用の方法を検討するべきである。	市内の公園は計画に基づき配置されているものですが、効果的な利用方法の検討について御意見をいただいていることを担当部門と共有させていただきます。
16	こどもが相談できる場所があるのか。例えば、学校の中にフリールームを設置すれば、こどもや保護者だけでなく、先生も相談に行ける。また、学校に行きづらい生徒に向けたフリースクールもあるとよいが、そうした分野の取組はどのようなになっているのか。	本年度から、児童館に相談機能を持たせる取組を進めており、本年度は4か所で実施する予定です。また、フリールームについては昨年度から2校の中学校で実施しており、本年度も2校拡大して実施する予定です。最終的には、市内の全中学校での設置を目指します。また、厚木中学校に「なかま教室」、市役所第二庁舎6階にも「なかまルーム」を設置しており、今後も引き続き支援をいたします。フリースクールについては、具体的にお示しできることが現時点ではございませんが、今後適切な取組を検討いたします。
17	第10次総合計画の総括は行うのか。また、第10次の総括を第11次の記載や内容にどのように反映させるのか。	第10次総合計画の総括については、第1期実施計画の振り返りを本年度行っているところで、おおむね順調に進捗しているということでまとめています。第11次に記載する場合は、資料編での記載を想定しておりますが、詳細については今後検討いたします。
18	第11次総合計画では、まち・ひと・しごと創生総合戦略を一体化するということだが、人口の増減についても総括が必要。また、生産年齢人口として15歳から64歳までの人口を採用しているが、現状、65歳を超えても働いている人がいる。このことについてどのように認識しているのか。	まち・ひと・しごと創生総合戦略については、毎年度効果検証をしており、社会動態(転入)については順調ですが、自然動態(出生)は減少という結果です。今回の総合計画でも目標人口を設定しておりますが、人口減少を受け止めつつ、減少をどのように緩和していくかといった視点で検討しております。生産年齢人口については、今後も従来どおり、年少人口、生産年齢人口、前期高齢者人口、後期高齢者人口という4つの区分によりお示しして

		まいりますが、御意見のとおり老年人口の方でも働いている方が多くいらっしゃいますので、具体的な取組の中で高齢の就労者の方への支援等といった視点も踏まえて検討いたします。
19	地域で市民交流用のためのサロンを運営しているが、活動資金の調達に困っている。アクションプランの方で予算付けをしてほしい。	昨年度のワークショップでも、地域のつながりをつくりたいという御意見を多くいただき、人口減少社会という中で地域コミュニティの役割の重要度は高くなってきていると認識しています。具体的なことについて現時点ではお答えできませんが、継続的に活動していただけるための施策を検討いたします。また、こうした御意見をいただいているということに関係部門と共有させていただきます。
20	最近、市内の祭りでみこしが出る機会が少なくなったと感じる。みこしは人を集める魅力があり、地域の活性化につながると思うので、みこしができる祭りをもっと増やすと良いと思う。	いただいた御意見はイベントの担当部門と共有させていただきます。
21	厚木市内にサロンのようなグループでコミュニティを作っている団体はいくつあるか行政として把握しているか。サロンは地域住民の交流の機会になり、コミュニティの形成に役立つと思うので、積極的に増やしてほしい。	市民福祉部の地域包括ケア推進課や、厚木市社会福祉協議会において、各地区の状況を把握しております。